


# 企救丘校区の元気プラン

住民発！

企救丘校区 小地域福祉活動第二次計画



2018年~2022年

ふれあいネットワーク  
 企救丘校区社会福祉協議会



## ごあいさつ

企救丘校区では、住民みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくりを目指して、地域住民や公私の社会福祉関係者が協力して地域福祉活動を進めてきました。特に、北九州市で平成5年に開始されたふれあいネットワーク活動にも平成10年より取り組み、「自分たちの地域の福祉課題は、自分たちが解決していく」という目的の下、見守り・助け合い・話し合いの活動を中心に小地域福祉活動を進めてきました。

全国的な少子高齢社会の進展の中で、高齢者のみの世帯、ひとり親家庭が増加し、地域におけるつながりや支え合いが一層求められる中、課題を抱え、孤立した生活を送る世帯が増えています。北九州市においても少子高齢化や、障害のある人や認知症高齢者の増加、孤立死や8050問題など地域の生活課題は一層の多様化を見せており、その中で行政と民間団体との役割分担と協働の指針である「北九州市の地域福祉2011-2020」(北九州市地域福祉計画)が行政により策定され、また行政計画と協働しながら北九州市社会福祉協議会が中心となって地域社会の福祉課題を解決するため「住民ふくしの元気プラン2016~2020」(北九州市地域福祉活動第五次計画)が策定されました。

企救丘校区においても新しい課題が生まれてきており、今後地域福祉活動を進めていくためには、地域福祉を担う各種団体がもう一度地域の福祉課題を共有し、課題解決に向けて話し合い、協働を生み出していく協議の場が求められています。そこで、北九州市の地域福祉計画及び地域福祉活動計画と整合性を持ちながら、住民主導により地域福祉活動を進めるため、新しい小地域福祉活動計画を策定しました。

この計画の策定にあたりご尽力いただきました本計画策定委員会委員並びにご意見をお寄せいただきました関係者の皆様に、感謝を申し上げ、ご挨拶といたします。

企救丘校区社会福祉協議会会長  
岡本 広治

## もくじ

ごあいさつ	..... 1 p
第1章 計画策定にあたって	..... 2 p
1 計画の性格	
2 計画の期間	
3 計画の策定経過	
第2章 企救丘校区の現状と課題	... 3 p
1 地域社会の動向	
2 地域の福祉課題	
第3章 計画体系	..... 4 p
1 基本理念	
2 基本目標	
3 実施項目(体系図)	
4 重点実施項目	
第4章 計画の推進	..... 7 p
1 地域への計画の承認と周知	
2 計画を推進するための体制	
3 第3期計画の策定	
参考資料	..... 7 p
1 策定委員会名簿	
2 推進委員会名簿	



# 第1章 計画策定にあたって

## 1 計画の性格

### (1) 住民発信の行動計画

この計画は、企救丘校区の様々な福祉課題を解決するために、住民や民間団体が将来の見通しを持って計画的に活動しようとするための民間の行動計画です。

### (2) 小地域の生活を支える計画

この計画は、企救丘校区に住む人たちの「生活」を支えることを活動の原点とする計画です。

### (3) 北九州市及び北九州市社会福祉協議会・小倉南区社会福祉協議会と協働する計画

この計画は、北九州市及び北九州市社会福祉協議会・小倉南区社会福祉協議会の計画と連携しながら地域福祉活動を進めていく計画です。

### (4) 企救丘校区社会福祉協議会の活動指針となる計画

この計画は、社会福祉協議会が地域福祉推進の中核的な団体としての方針や発展強化の道筋を明らかにする性格を有します。

## 2 計画の期間

平成 30 年度～平成 34 年度までの 5 ヶ年とします。計画の期間中、地域を取り巻く状況に大きな変化があれば、見直しを行います。

## 3 計画の策定経過

企救丘校区では、地域福祉活動に取り組んでいる関係機関・団体等からの意見を踏まえ、民間の地域福祉に関する計画を策定するため、企救丘校区小地域福祉活動計画策定委員会を設置しました。平成 24 年 7 月 25 日に立ち上げた同委員会と勉強会、研修会において、協議の上、企救丘校区小地域福祉活動第一次計画を策定し、平成 30 年度からは第二次計画に移行する事となりました。

## 第2章 企救丘校区の現状と課題

### 1 地域社会の動向

#### 企救丘校区データ

平成29年4月現在

人口	12,791 人	小学校	企救丘小学校
世帯数	5,853 世帯	中学校	志徳中学校・守恒中学校
高齢化率	27.3%	公民館 市民センター	企救丘市民センター
一人暮らし 高齢者数	854 人	地域包括支援 センター	小倉南4
その他社会資源等	徳寿園、病院、公園等		

企救丘校区は、小倉南区モノレール徳力公団駅から終点企救丘駅の東側に位置し、マンモス志徳団地や大型マンション、住宅団地で占めています。校区内には学校や市民センター、医療機関、スーパー等の社会資源は充実していて、交通の便についてもバスやモノレールが通り、とても便利な地域です。しかし、高齢化も進んできており、世帯構成についても高齢者の単身世帯が占める割合が高い地域です。

### 2 地域の福祉課題（及び小地域福祉活動の課題）

企救丘校区では平成10年よりふれあいネットワーク活動が展開されていますが、少子高齢化の加速化が懸念されています。校区内で将来に向けた地域のビジョンを描き、福祉活動を充実することが求められています。

福祉活動を進めていく上での課題としては、「知らない」・・・近所のことを知らない、地域でやっていることを知らない、地域で出来る事を知らない、町内会に入らない、町内会が無い、また、知ろうとしない、知らせない。ということから、見守りが必要な方の情報が十分に得られていないという現状があります。

また、近年では高齢者を対象とした消費者被害や、認知症高齢者の徘徊や孤独死等が増加しており、日頃からの見守り活動に加えて、地域行事を利用した住民への啓発活動の重要性が高まっています。さらに、平成28年には熊本地震、平成29年には九州北部豪雨と災害が相次いでいます。北九州市は従来、比較的 안전한地域と考えられていましたが、平成29年7月の九州北部豪雨では企救丘校区でも避難者が出るなど、災害時の対応も迫られています。

### 第3章 計画体系

#### 1 基本理念「おたがいさまのまちづくり」

企救丘校区では、子どもから高齢者まで、障害のあるなしに関わらず、誰もが住み慣れたところで安心して生活できるまちにしたいと願っています。そのために「声かけて 子どもが育つ きくがおか」という言葉をスローガンに、「おたがいさまのまちづくり」を基本理念として、小地域福祉活動第二次計画を推進していきます。

#### 2 基本目標

##### (1) 福祉を学び合い、助け合いの意識を高めよう

福祉活動の広報啓発により、地域に福祉の風土を広げます。

##### (2) 住民同士のふれあい・交流を深めよう

地域行事を通して、住民間のつながりを強めてきます。

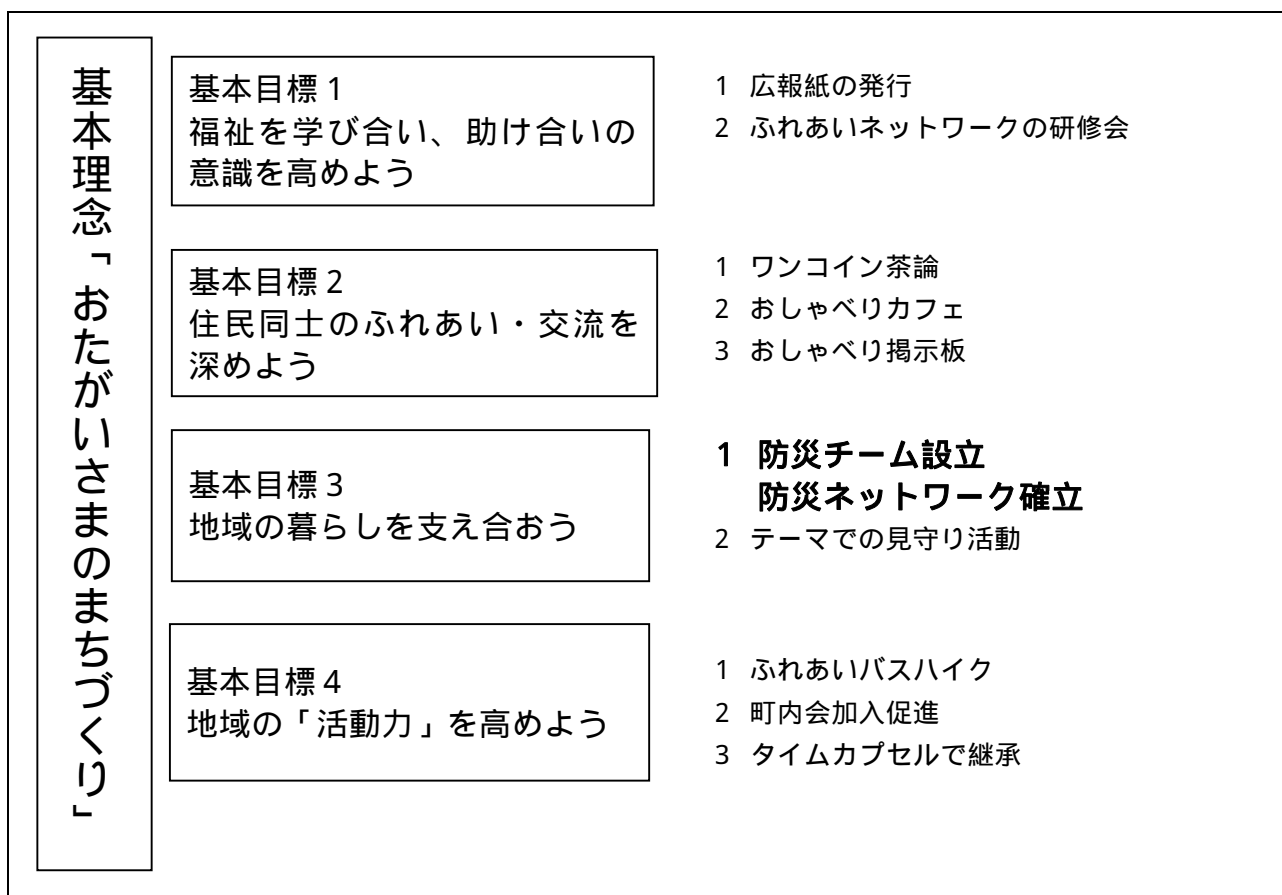
##### (3) 地域の暮らしを支え合おう

地域住民みんなが安心して暮らせるよう公私の社会福祉関係者と支援の輪をつくり、住民の主体的参加による福祉活動をすすめます。

##### (4) 地域の「活動力」を高めよう

活動者の募集や育成・関係者の連携により、地域の「活動力」を強化し、活動財源の安定的な確保に努めます。

#### 3 実施項目（体系図）





#### 4 重点実施項目

重点実施項目		安心な地域へ/防災チーム設立と防災ネットワーク					
1 課題背景及び現状							
<p>企救丘校区には幸いにも災害危険区域が少なく、防災活動を積極的に推し進める要望はありませんでした。しかしながら、近年発生している「まさか」という自然災害に対して、校区の防災意識が高まっています。また、携帯電話で避難メールが配信されたときに、自分たちがどのような状況にあり、どのように対応すれば良いのかという個別の指示や情報が欲しいという要望があります。</p>							
2 活動の方針・目標							
<p>企救丘校区「防災チーム」は20代～40代で設立します。          子どもたちと一緒に毎年、防災訓練をすることで次世代の防災チーム育成に繋がります。          校区内に防災ネットワークを確立します</p> <p>1年目 防災チーム設立              「みんな De Bousai」研修</p> <p>2年目 テーマ・課題に対しての見守り活動スタート(毎年実施)              子どもたちとの防災訓練スタート(毎年実施)</p> <p>3年目 防災ネットワーク要綱の作成</p> <p>4年目 避難所リーダー及び避難担当の確立</p> <p>5年目 避難所開設運営マニュアル</p>							
3 段階的な取り組みの年次計画							
取り組み内容	連携する機関	H30	H31	H32	H33	H34	5年後の達成目標
防災チーム設立 防災訓練 毎年	まち協 民児協 老人会 自治会 行政 小・中学校 市民センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>先駆的な地域や行政にアドバイスを受け防災研修実施</li> <li>40代以下の防災チーム設立</li> <li>子どもたちとの防災訓練(毎年)</li> </ul>					H30「みんな De Bousai」を活用し、防災チームの体制を確立します。
防災ネットワークの確立	まち協 民児協 老人会 自治会 行政 小・中学校 市民センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎年、テーマ・課題を決めて見守り活動を実施し、ニーズの調査をします。</li> <li>様々な状況を想定し、情報伝達の仕組みを確立します。</li> </ul>					どのような状況でも適切な情報伝達ができる仕組みにします。

#### 4 重点実施項目

重点実施項目		広報の充実・強化					
1 課題背景及び現状							
<p>企救丘校区において、様々な活動を行っていますが、やっていることを「知らない」、人を「知らない」、住んでいる町内会を「知らない」という現実です。お世話をされている方や役員は「知っているだろう」「知っているはず」と温度差があります。これでは、自己満足になってしまい、地域の発展がありません。また、町内会に加入したくても町内会の無い地域が存在します。</p>							
2 活動の方針・目標							
<p>5年後の目標 「知らない」「みんな知ってる」へ</p> <p>イベントのお知らせや報告だけではなく、地域の多くの方々から情報が集まる仕組みをつくり、広報紙に掲載し、地域ならではの情報を充実させます。子どもも読みたくなる広報紙へと変革します。</p> <p>ワンコイン茶論やおしゃべりカフェで、掲示板を作成し、ニーズや情報を町内会単位で共有します。ふれあいネットワーク＝要支援者を見守るシステムの認知度をあげ、してほしいこととやりたいことやれることをマッチングするシステムを確立します。</p> <p>町内会の無い世帯をフォローするために「きくがおか町内会」を設立し、仲間づくりの出来る環境整備に取り組みます。</p> <p>5年ごとにタイムカプセル事業を行い、地域としても個人としてもフィードバックと継承していく仕組みをつくりまます。</p>							
3 段階的な取り組みの年次計画							
取り組み内容	連携する機関	H30	H31	H32	H33	H34	5年後の達成目標
広報紙の発行 まちの掲示板	まち協 民児協 老人会 自治会 行政 小・中学校 市民センター						「知らない」  「みんな知ってる」へ
町内会加入促進	まち協 民児協 老人会 自治会 行政 小・中学校 市民センター						町内会加入 70% (現在 66%)
タイムカプセル	まち協 民児協 老人会 自治会 行政 小・中学校 市民センター						H29 H34  ・5年ごとの実施 ・子ども成長・高齢者の生きがい



## 第4章 計画の推進

### 1 地域への計画の承認と周知

校(地)区社会福祉協議会総会等を通じた社会福祉協議会活動者への計画の承認と周知  
計画の実施項目を進めていく上での関係機関・団体への周知・協力依頼  
計画書概要版の配布等を通じた校(地)区住民への周知  
等、計画を推進していくために、計画の広報活動を行います。

### 2 計画を推進するための体制

#### (1) 小地域福祉活動計画推進委員会の設置

計画を推進していくために、企救丘校区小地域福祉活動計画推進委員会を設置し、計画の進行管理を行います。

関係機関・団体との連携

計画内容の具体的な実施方法

進行管理の実施等について、委員会では協議を進めていきます。

#### (2) 計画の進行管理

企救丘校区小地域福祉活動計画推進委員会を年3回程度開催します(当年度の事業推進の確認、年度内における中間確認、次年度の事業確認、また必要に応じて開催)。委員会では、PLAN(計画立案)DO(実行)CHECK(点検・評価)ACT(改善)というPDCAのサイクルを回しながら、計画内の各実施項目の進捗状況を把握し、うまく進行していない場合には、その原因を明らかにし、問題への対策を立て、その対応策を実施します。

#### (3) 計画の評価

計画期間の中間時点では計画全体の中間見直しを、最終年度には総括評価を行います。

### 3 第3次計画の策定

第2次計画の推進状況を踏まえて、第3次計画の策定期間(計画第4～5カ年度)には新しく第3次計画策定委員会を設置し、計画策定に向けて協議を進めていきます。

## 参考資料

### 1 企救丘校区小地域福祉活動計画策定委員会委員名簿

役職	氏名	備考
会長	岡本 広治	自治連合会・社会福祉協議会、ふれあいネットワーク実行委員長
副会長	佐藤 稔	夏まつり実行委員長、ふれあいネットワーク事務局、次世代プロジェクトリーダー
会計	中上 恵美子	ふれあいネットワーク会計、主任児童委員
理事	中島 文生	社会福祉協議会、ふれあいネットワーク
事務局	霧久 一二三	民生委員、実行委員(ふれあいネットワーク担当)
事務局	鬼塚 恵子	福祉協力員、実行委員(ふれあいネットワーク担当)
事務局	高崎 松子	民生委員、実行委員(ふれあいネットワーク担当)
事務局	井上 美智子	民生委員、実行委員(ふれあいネットワーク担当)
事務局	長尾 千鶴代	民生委員、実行委員(ふれあいネットワーク担当)

## 2 企救丘校区小地域福祉活動計画推進委員会委員名簿

役 職	氏 名	備 考
会 長	岡本 広治	自治連合会・社会福祉協議会、ふれあいネットワーク実行委員会
副会長	片山 建夫	敬老会実行委員長
副会長	佐藤 稔	夏まつり実行委員長、ふれあいネットワーク事務局、次世代プロジェクトリーダー
監 事	玉男木 浩治	元企救丘第二町内会長
監 事	西村 隆	元企救丘第三町内会長
事務局長	福嶋 信哉	
会 計	長尾 朋子	自治連合会、社会福祉協議会会計
会 計	中上 恵美子	ふれあいネットワーク会計、主任児童委員
会 計	高口 美紀	コミュニティサポート室
理 事	大塚 伸一	下徳力第一町内会長
理 事	酒井 俊哉	下徳力寿町町内会長
理 事	松永 俊朗	企救丘第一町内会長
理 事	服部 兼昌	企救丘第二町内会長
理 事	八崎 和彦	企救丘第三町内会長
理 事	大森 正子	企救丘第五町内会長
理 事	福田 宏行	春日台町内会長、生活安全パトロール実行委員長
理 事	前田 健太郎	山手団地町内会長
理 事	土井 智子	志徳団地町内会長
理 事	入川 哲夫	徳力中山町内会長、どんど焼き実行委員長
理 事	鶴 嘉世子	石田南一丁目町内会長
理 事	福谷 賢一	石田南ミサワ町内会長
理 事	平島 圭二	タカヤ町内会長
理 事	甲斐 雄二	ゆりのき町内会長
理 事	大長 則之	藤和ハイタウン町内会長
理 事	森本 敏弘	エミネンス町内会長
理 事	桐野 秀美	ヴァンテアン徳力町内会長
理 事	詫間 悟	山手町内会長、スポーツ推進員
理 事	谷口 英顕	コモド町内会長
理 事	井ノ口 貴史	アーバンパレス徳力 町内会長
理 事	吉村 静夫	年長者部長

役 職	氏 名	備 考
理 事	矢上 了一	体育部長、体育祭実行委員長
理 事	道家 昌実	婦人部長
理 事	野田 靖博	青少年部長
理 事	園 貴義	企救丘校区子ども会育成協議会会長、健康づくり事業担当
理 事	木下 敏行	少年補導員（警察）
理 事	泉 文敏	民生委員
理 事	荒川 栄信	校庭開放主任管理指導員
理 事	白石 新治	保護司会
理 事	福谷 健	企救丘小学校 P T A 会長
理 事	佐藤 稔	志徳中学校 P T A 会長
理 事	大嶋 洋	コミュニティサポート室長、周年事業実行委員長
理 事	中島 文生	社会福祉協議会、ふれあいネットワーク
事務局次長	光安 隆史	学童保育クラブ担当
事務局次長	御木 毅	広報担当、薬剤師
事務局	靄久 一二三	実行委員（文化祭担当）
事務局	庄司 直美	実行委員（ふるまい担当）
事務局	浅富 佳代子	実行委員（ふるまい担当）
事務局	戸成 純	実行委員（夏まつり担当）
事務局	木村 聡	実行委員（夏まつり担当）
事務局	酒見 英志	実行委員（環境衛生協会担当）
事務局	福田 絵美子	コミュニティサポート室
事務局	鬼塚 恵子	福祉協力員、実行委員（ふれあいネットワーク担当）
事務局	高崎 松子	民生委員、実行委員（ふれあいネットワーク担当）
事務局	井上 美智子	民生委員、実行委員（ふれあいネットワーク担当）
事務局	国武 洋子	福祉協力員、実行委員（ふれあいネットワーク担当）
顧 問	伊東 陽一	志徳中学校 校長
顧 問	米永 博光	企救丘小学校 校長
顧 問	杉本 誠	志徳幼稚園 園長
顧 問	宮崎 浩	徳寿園 園長
顧 問	井上 秀作	北九州市議会議員
事務局顧問	田中 このみ	企救丘市民センター館長

★社会福祉協議会のイメージキャラクター★



『プチボザウルス』( Petit vo saurus )

Petit ( **プチ** : ちっちゃな )

Volunteer ( **ボ**ランティア )

Saurus ( **サウルス** ≡ 恐竜 )

**企救丘校区社会福祉協議会**

〒802-0974 北九州市小倉南区徳力四丁目17-5 企救丘市民センター内  
TEL 093-963-3101 FAX 093-963-3160

**小倉南区社会福祉協議会**

〒802-8510 北九州市小倉南区若園五丁目1番2号  
TEL 093-951-5388 FAX 093-951-5391

**北九州市社会福祉協議会**

〒804-0067 北九州市戸畑区汐井町1番6号ウエルとばた内  
(代表) TEL 093-882-4401 FAX 093-882-3579  
(地域福祉部) TEL 093-873-1296 FAX 093-873-1351